

講義名	教養特講Ⅰ（知的財産権）		
科目区分	教養特講		
担当教員	小畑 徳彦		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 4時限	授業形態	
	2020年度 人間社会学部 人間健康学科/2020年度 人間社会学部 観光学科/2020年度 人間社会学部 人間社会学科/2020年度 経済学部 経済情報学科/2020年度 経済学部 経済学科/2020年度 商学部 マーケティング学科/2020年度 商学部 経営学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要
インターネットで誰でも簡単にさまざまな情報を得られる時代になり、著作権は誰にでも身近な法律となっています。どんな情報をネットにアップしたら著作権の侵害になるのでしょうか？ネット上にある情報は自由に利用していいのでしょうか？知らないうちに著作権を侵害していないのでしょうか？著作権を侵害したらどうなるのでしょうか？また、自分の作品に著作権はあるのでしょうか？あるとしたらどのように保護されるのでしょうか？この講義では、身近な事例を挙げて、著作権の基本を学び、著作権との上手な付き合い方について考えていこうと思います。

到達目標
著作権の基本を理解し、著作権でどのようなことが禁止されており、どのようなことが許されているかが分かり、実生活で応用できるようになる。

提出課題
授業の理解度を確認するため、毎回確認テストを行い、授業時間内に答案を提出してもらい、2回程度レポートを提出してもらおう。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
確認テストは、次回の講義の際に解説・講評をする。レポートもいくつか取り上げて講評する。

評価の基準
毎回の確認テスト60%、レポート40%

履修にあたっての注意・助言他
著作権については、初心者向けの本がたくさんあります。授業を聴くだけでなく、自分で参考書として掲げたものなどを読んで勉強してください。著作権については、音楽教室が違法にアップロードされた文書等の複製を罰則付きで禁止する法案が出されるなど、新しい動きについて報道されています。授業の中で新たな問題についても紹介しますが、自分でも新聞を読むなどして、著作権をめぐる動向についてフォローしてください。

教科書
. 使用しない。

プリント資料及び参考文献
毎回レジュメと講義スライドをRYUKA PORTALで配布する。その他、適宜資料を配布する。
<参考文献> 福井健策著『18歳の著作権入門』ちくまプリマー新書 820円 宮武久佳著『正しいコピペのすすめ』岩波ジュニア新書 860円 福井健策著『著作権とは何か』集英社新書 680円

授業計画
1. 著作権とは何か、なぜ著作権があるのか 2. 著作物とは何か、著作物でない情報とは何か 3. 著作権を持つのは誰か 4. 著作権とはどういう権利か 5. 何をしたら盗作になるのか 6. 個人で楽しむためのコピー・ダウンロードと著作権 7. 引用として許されるのはどういう場合、どこまでか 8. 学園祭での演奏は著作権の侵害か、演奏のネット配信はどうか 9. 買った本やCD・DVDは自由に利用していいか 10. SNSと著作権 11. 自由に利用できる著作物 12. 著作権の期限、著作権切れの著作物の利用 13. 海賊版と違法アップロード 14. 著作物への加筆やアレンジは許されるか 15. 他人の著作物を利用した著作物・パロディ、コラージュ、コミケ

授業形態（アクティブ・ラーニング）
ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
今回の授業について、参考書等で予習する。（各回1時間） 授業を受けた後、配布したレジュメや資料、スライドを利用して復習する。そして、授業で出された問題をもう一度読んでみて、次回の授業の際の問題解説で確認し、再度復習する。（各回3時間） レポートは、授業を復習し、参考文献を読むなどして、よく考えて書き、期限内に提出する。（レポートごとに5時間）

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考